

- 問1 仙台駅を起点とした東北地方の移動について、鉄道の整備状況と所要時間の関係を示した記述として正しいものはどれですか。なお、仙台駅から盛岡駅へは約39分、秋田駅へは約139分、気仙沼駅へは約129分かかるものとします。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する
  2. 気仙沼駅へは新幹線が整備されているため、秋田駅へ向かうよりも短い時間で移動することが可能である
  3. 盛岡駅、秋田駅、気仙沼駅のいずれの都市へも、新幹線の整備によって仙台駅から1時間以内で到達できる
  4. 新幹線を利用しない気仙沼駅への移動時間は、高速化された在来線により、新幹線を利用する盛岡駅よりも短い
- 問2 山形県を流れる最上川の河口付近に位置し、江戸時代から稲作が盛んだった平野と、その拠点である酒田港から「西廻り航路」を通じて当時の経済の中心地へと米を運んだ際、その主な目的地となった都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 越後平野 – 江戸
  2. 庄内平野 – 江戸
  3. 越後平野 – 大阪
  4. 庄内平野 – 大阪
- 問3 東北地方の太平洋側に位置する仙台市の気候の特徴について、気温と降水量の統計的な傾向を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。なお、仙台市では1月の平均気温が5℃を下回り、7月の平均気温は23℃から25℃程度、7月の降水量は200mm程度となります。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が非常に少なく、特に冬の冷え込みが厳しいため、1月の気温が氷点下10℃を下回る。
  2. 梅雨や台風の影響をほとんど受けないため、夏から秋にかけても降水量は増えず、年間を通じて一定である。
  3. 夏から秋にかけて降水量が増加する一方で、冬は乾燥して晴天の日が多く、降水量が少ない。
  4. 冬は北西の季節風の影響で雪が非常に多く降り、夏はフェーン現象によって連日35℃を超える。
- 問4 夏に発生する冷たく湿った北東風（ヤマセ）などの影響により、7月における霧の発生日数が多い特徴を持つ、東北地方の都市の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 仙台市
  2. 盛岡市
  3. 青森市
  4. 秋田市
- 問5 日本の東北地方において、初夏から夏にかけてオホーツク海高気圧から太平洋側に吹き込む、冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. フェーン
  2. 季節風
  3. からっ風
  4. やませ
- 問6 三陸海岸沿いの統計資料を確認すると、年間2.5万トン以上の水揚げ量がある主要な漁港が複数点在していることがわかります。このように、この海域で漁業が非常に盛んである理由について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 日本海側を北上する対馬海流が三陸海岸まで流れ込み、一年を通じて水温が高い状態が保たれるため。
  2. リマン海流の影響で冬場の水温が極端に下がり、特定の高級魚種だけが集中的に生息する環境になるため。
  3. 大陸棚が広大に広がっているため、日光が海底まで届きやすく、海草を食べる魚類が大量に繁殖するため。
  4. 北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。
- 問7 東北地方北部の青森県と秋田県の境界線付近に位置する白神山地が、世界自然遺産に登録された主な理由として、その自然環境の特徴を説明したものとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 人為的な影響をほとんど受けていない、広大なブナの原生林が維持されているため
  2. 樹齢1000年を超える巨大な屋久杉が自生する、独特の生態系を持っているため
  3. 江戸時代から続く伝統的な林業によって、良質なスギの人工林が守られてきたため
  4. 標高3000メートルを超える山々が連なり、氷河の侵食による地形が発達しているため
- 問8 青森県のりんご栽培において、長期間にわたって鮮度を保ち、収穫時期以外の時期にも安定して出荷できるようにするための工夫として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 収穫後の傷みを防ぐため、水分をすべて飛ばした乾燥果実（ドライフルーツ）の状態でのみ全国へ出荷する。
  2. 夏の冷たく湿った風である「やませ」による被害を防ぐため、すべての果樹園を巨大な温室で覆って栽培する。
  3. 収穫時期をずらすために、標高の高い山地から低地まで、あらゆる高度の土地で一斉に同じ品種を栽培する。
  4. 酸素や二酸化炭素の濃度、温度を調節する「CA貯蔵」という技術を用いて、果実の呼吸を抑えて保存する。
- 問9 東北地方の農業と地域産業について述べた次の文のうち、内容が正しいものはどれか、選びなさい。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 東北地方の果樹栽培は、主に日本海沿岸の平野部で展開されており、米作りとの兼業が困難なため、果樹専業農家のみで構成されている。
  2. 福島県は、東北地方において西洋なしの生産量が最も多く、金属製品の製造を伝統産業として発展させてきた。
  3. 青森県は、りんごの生産量が全国有数であるほか、西洋なしの生産シェアにおいても全国の70パーセント以上を占めている。
  4. 山形県では、全国シェアの大部分を占める西洋なしや、さくらんぼなどの果樹栽培が盛んに行われている。
- 問10 東北地方に位置するある県では、最上川沿いに広がる盆地の地形と、夏の昼夜の気温差が激しい気候を活かした農業が行われています。この県では「はえぬき」や「つや姫」といった銘柄米の生産とともに、全国の生産量の多くを占めるさくらんぼなどの果樹栽培が盛んですが、この県の名として正しいものを次から選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 青森県
  2. 秋田県
  3. 福島県
  4. 山形県
- 問11 岩手県の県庁所在地である盛岡市の気候について、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 北に位置する内陸部であるため、年平均気温が約10度と低く、冬の冷え込みが厳しい。
  2. 暖流である黒潮の影響を受けるため、冬でも平均気温が0度を下回ることはない。
  3. 北西の季節風の影響を直接受けるため、冬の降水量が一年の中で最も多くなる。
  4. 夏に高温多湿となり、年平均気温は15度を超える温暖な気候である。
- 問12 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器の歴史的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かした繊維産業として発展し、現在は化学繊維を用いた工業へと変化している。
  2. 奥羽山脈から産出される良質な粘土を原料とした陶磁器として、宮城県を中心に生産が拡大した。
  3. 北上川の水運を利用できる利点を活かし、原材料の調達や製品の輸送を行うことで産地として発展した。
  4. 日本海側の港から北前船によって運ばれた木材を加工する技術が伝わり、漆器の産地として形成された。